岩手県立生涯学習推進センター
研修実施報告 Web版

実 施 日：令和３年２月４日（木）・５日（金）
実施場所：岩手県立生涯学習推進センター
受講者数：211 名
市町村参加率：５４．５％（18/33 市町村）

令和２年度岩手県生涯学習推進研究発表会

「人づくり・つながりづくり・地域づくりフォーラム 2020」というテーマのもとに行われた研究発表会には、２日間でのべ 211 名の方々に参加いただきました。

◆当センターの研究成果を発表

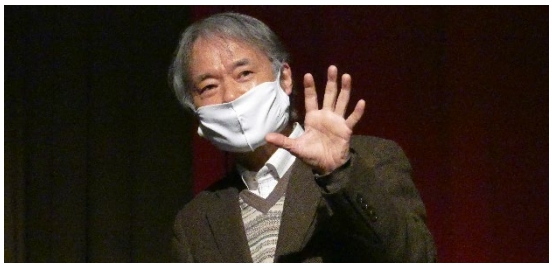
１日目の研究発表では、「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」を阿部貴弘社会教育主事（左）が、「地域づくりにおける社会教育の意義に関する研究」を佐藤和行社会教育主事（右）がそれぞれ発表しました。

◆事例発表・協議「岩手の地域づくりを考える」

左から、
NPO 法人古館まちづくりの会　調査・改善部門　代表　佐々木　勉　氏
ＮＰＯ法人レスパイトハウス・ハンズ理事
兼　いちのせき市民活動センター長　小野寺　浩　樹　氏
花巻市人材マネジメント部会　ＯＢ組織　代表　佐々木　明　子　氏

２日目の午前は、「岩手の地域づくりを考える」、「地域づくりの処方箋」、「SIMULATION2030 との出会い」と題した３つの事例を発表いただきました。

◆講演 「人口減少時代の地域づくり」



２日目の午後は、岩手大学　名誉教授　広田　純一（ひろた　じゅんいち）氏に「人口減少時代の地域づくり」と題してご講演をいただきました。参加者からは「地域づくりのためのいろいろな方法は、職場や仲間作りにも通じるものがあると思った。今、何をすべきか現状を踏まえた講演で、とてもわかりやすかった」「人口減少に対する対策まで話があり大変勉強になった。さらに、すぐに活用できそうなものが多く紹介されており、大変有意義な講演であった」などの声が寄せられました。

《参加者の声》

- まさしく今疑問に思っている課題解決に役立つ内容で、大変参考になった。身近な地域で活躍されているみなさんに敬意を表したい。
- 発表や講演を聞いて、やる気がわいてきた。地道な活動を続け、様々なきっかけづくりを行うことがとても重要なことを再度確認することができた。

《参加者の評価》

A（有意義）	85.7%
B（どちらかといえば有意義）	14.3%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（濱）から》

今回は、新型コロナウイルス対策のため、ハイブリット型で実施しました。研究内容や先進事例、講演などを通して、一人でも多くの皆さんと、地域の課題を共有できたのならとてもうれしいです。